平成23年度 財政状況資料集

区分

指定団体等の指定状況

平成23年度(千円)

平成22年度(千円)

区分

平成23年度(千円・%)

平成22年度(千円・%)

総括表(市町村)

	都道府県名	į	 森県	市町	「村類型	IV -	- 1	指定団体等	の指定状況	歳入総額		77, 051, 301	75, 462, 614	実質収支比率		1.4	2. 1
								財政健全化等	×	歳出総額		76, 184, 182		経常収支比率		93. 9	90. 4
								財源超過	×	歳入歳出き	E 引	867, 119	1, 594, 553	(※1)		(100.5)	(98.4)
	市町村名	5.	前市	地方交	付税種地	1-	-5	首都	×	翌年度に総	融越すべき財源	255, 544	647, 850	標準財政規模		43, 249, 253	44, 147, 694
								近畿	×	実質収支		611, 575	946, 703	財政力指数		0. 45	0. 47
		22年国調(人)	183, 473			l		中部	×	単年度収支	Ē	-335, 128	625, 724	公債費負担比率		17. 3	17. 9
	人口	17年国調(人)	189, 043		産	業構造 (※5)		過疎	0	積立金		571, 976	483, 073	健全化判断比率			
		増減率 (%)	-2. 9	[2	区分	22年国調	17年国調	山振	0	繰上償還金	ì	134, 064	143, 842	実質赤字比率		-	-
		24.03.31(人)	181, 622		***	12, 670	15, 853	低開発	0	積立金取削	制し額	229, 729	-	連結実質赤字比率		-	-
住	民基本台帳人口	23. 03. 31 (人)	182, 884	東	第1次	15. 5	17. 2	指数表選定	0	実質単年度	[収支	141, 183	1, 252, 639	実質公債費比率		12. 3	13. 1
		増減率 (%)	-0. 7		第2次	13, 609	15, 330			基準財政収	7入額	15, 582, 642	15, 498, 804	将来負担比率		88. 7	103. 6
	面積 (km²)		524. 12	*	52次	16. 7	16. 7			基準財政課	響額	34, 560, 376	34, 983, 781	資金不足比率 (※4)			
人I	口密度(人/k㎡)		350	4	第3次	55, 357	58, 644			標準税収力	(額等	20, 161, 612	19, 978, 705	岩木観光施設事業特別会計		1430, 8	1955. 2
1	世帯数 (世帯)		70, 142	Я	わり人	67. 8	63. 7			経常経費差	E当一般財源等	42, 395, 239	41, 438, 281	石不既兀爬政争未付別云司		1430. 0	1933. 2
				職	員の状況			-		歳入一般則	才源等	50, 765, 522	50, 251, 267	病院事業会計		1.5	5. 3
	区分	定数	1人あたり平均			区分	職員数	給料月額	1人あたり平均					州 成乎未云司		1.3	5. 5
	E7	ÆW	給料月額(百円)			四月	(人)	(百円)	給料月額(百円)	地方債現在	高	78, 891, 608	81, 240, 618				
	市区町村長	1	10, 420		一般職員	l	984	3, 111, 408	3, 162	うち公的	資金	59, 864, 235	59, 584, 974				
特別	副市区町村長	1	8, 570	般	うち消	的職員	-	_		- 債務負担行	う為額(支出予定額)	6, 139, 702	7, 734, 180				
職	教育長	1	7, 430	職品	うち技	能労務職員	133	451, 934	3, 398	収益事業収	7 入	-	-				
等	議会議長	1	6, 256	等	教育公務	員	16	64, 616	4, 039	土地開発基	金現在高	1, 073, 690	1, 072, 826				
	議会副議長	1	5, 608		臨時職員	l	-	-		- - ** ÷ A	財政調整基金	2, 894, 927	2, 552, 680				
	議会議員	32	5, 300		合計		1,000	3, 176, 024	3, 176	積立金 現在高	減債基金	1, 850, 015	1, 250, 015				
					ラスパイ	レス指数(※6)		103. 6	(95.8))	その他特定目的基金	5, 122, 298	5, 759, 267				
— 船:	会計等の一覧		事業:	会計の一	- 뺨			公営企業 (法適)	の一瞥		公営企業(法非適)の一	ii ii	関係する一部事務組	合等一階	地方公社・第	三セクター等一覧	
項番		会計名	項番		50	会計名		項番	会計名			会計名	項番	組合等名	項番	団体名	(%3)
(1)	一般会計		(2)	国民健康	隶保険特別会	会計		(5) 病院事業会計	t		(8) 岩木観光施設事業特別	会計	(9) 弘前地区環境整	備事務組合	(18) 一般財団	法人 弘前市みどりの協会	
			(3)	介護保险	食特別会計			(6) 水道事業会計	+				(10) 弘前地区消防事	路組合	(19) 弘前ウォ	ーターフロント開発株式会	+
			1-7	71 LL 91-15				(1)					(**) 340.04110.7	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	(1-7 2403 7 1	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
			(4)	後期高齢	鈴者医療特別	削会計		(7) 下水道事業会	計				(11) 津軽広域水道企	業団津軽事業部	(20) 弘前市土	地開発公社	0
													(12) 津軽広域連合		(21) 財産法人	岩木振興公社	0
													(13) 青春県後期高齢	者医療広域連合 (一般会計)	(22) 財団法人	星と森のロマントピアそ	i ±
															(==, ,,,=,,,,,		
													(14) 青森県後期高齢	者医療広域連合(特別会計)			
													(15) 青森県市長会管	理組合			
													(16) 青森県交通災害	共済組合			
													(17) 青森県市町村総	· 今事務組合			
													(17) HAMMINE TING	H T 10114 H			

⁽注釈) ※1:経常収支比率の()内の数値は、「減収補塡債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。 ※2:各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。 ※3:地方公共団体が損失補塡等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に〇印を付与している。 ※4:資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。 ※5:産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調と分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。 ※6:ラスパイレス指数の()内の数値は、国家公務員の時限的な(2年間)給与改定特例法による措置が無いとした場合の値である。

青森県弘前市

(1) 普诵会計の状況(市町村)

	状況(単位 千円					犬況 (単位 千円・		•
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分
地方税	19, 994, 811	25. 9	19, 091, 635	45. 2	普通税	19, 079, 486	95. 4	1, 326, 484
地方譲与税	651, 150	0.8	651, 150	1.5	法定普通税	19, 079, 486	95. 4	1, 326, 484
利子割交付金	42, 237	0. 1	42, 237	0. 1	市町村民税	7, 705, 307	38. 5	152, 933
配当割交付金	16, 919	0.0	16, 919	0.0	個人均等割	228, 616	1.1	
株式等譲渡所得割交付金	3, 336	0.0	3, 336	0.0	所得割	6, 154, 062	30.8	
地方消費税交付金	1, 841, 886	2. 4	1, 841, 886	4. 4	法人均等割	381, 963	1.9	
ゴルフ場利用税交付金	7, 790	0.0	7, 790	0.0	法人税割	940, 666	4. 7	152, 933
寺別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	9, 574, 586	47. 9	1, 173, 551
自動車取得税交付金	134, 378	0. 2	134, 378	0.3	うち純固定資産税	9, 531, 329	47. 7	1, 173, 551
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	360, 087	1.8	
地方特例交付金	191, 355	0. 2	191, 355	0. 5	市町村たばこ税	1, 439, 506	7. 2	
児童手当及び子ども手当特例交付金	85, 485	0.1	85, 485	0. 2	鉱産税	-	-	
減収補塡特例交付金	105, 870	0.1	105, 870	0.3	特別土地保有税	-	-	
地方交付税	22, 180, 818	28. 8	20, 133, 351	47. 7	法定外普通税	-	-	
普通交付税	20, 133, 351	26. 1	20, 133, 351	47. 7	目的税	915, 325	4.6	
特別交付税	2, 035, 080	2. 6	-	-	法定目的税	915, 325	4.6	
震災復興特別交付税	12, 387	0.0	-	-	入湯税	12, 149	0.1	
(一般財源計)	45, 064, 680	58. 5	42, 114, 037	99.8	事業所税	-	-	
交通安全対策特別交付金	36, 256	0.0	36, 256	0. 1	都市計画税	903, 176	4.5	
分担金・負担金	1, 148, 026	1.5	-	-	水利地益税等	-	-	
使用料	1, 111, 578	1.4	45, 341	0. 1	法定外目的税	-	-	
手数料	140, 893	0. 2	-	-	旧法による税	-	-	
国庫支出金	13, 264, 884	17. 2	-	-	合計	19, 994, 811	100.0	1, 326, 484
国有提供交付金(特別区財調交付金)	300	0.0	300	0.0				
都道府県支出金	5, 294, 432	6. 9	-	-	区分	平成23年度		平成22年度
財産収入	182, 351	0. 2	1, 536	0.0	後収率 現 計 古野社 R 報	97. 4	87. 5	97. 1 86. 5
寄附金	31, 384	0.0	-	-	(%) 年 計 市町村民税	98. 1	90. 9	97. 8 89. 9
繰入金	923, 378	1. 2	-	-	(%) 年 純固定資産税	96.6	83. 6	96. 2 82. 8
繰越金	1, 594, 553	2. 1	-	-	·			
諸収入	2, 684, 086	3. 5	592	0.0	公営事業等への繰出		東保険事業	会計の状況
地方債	5, 574, 500	7. 2	-	-	合計 9,605,924			-512, 525
うち減収補塡債(特例分)	-	-	-	-	下水道 2,358,981	再差引収支		-735, 046
うち臨時財政対策債	2, 954, 200	3.8	-	-	病院 893, 158	加入世帯数(世帯))	31, 842
歳入合計	77, 051, 301	100.0	42, 198, 062	100.0	観光施設 224, 650	被保険者数(人)		57, 747
					簡易水道 211,671		税(料)収入	
					国民健康保険 1,450,854		支出金	117
					その他 4,466,610	'ヘヨッ 保険	給付費	24
(注册)								

1	()	Ì	署	尺)

普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

			単位 千円・%)			
	目的別歳		(単位 千円・%)			
区分	決算額(A)	構成比	(A) のうち普通建	建設事業費	(A)のうち充	
議会費	575, 556	0.8		-		575, 556
総務費	6, 964, 481	9. 1		261, 337		5, 927, 731
民生費	28, 595, 831	37. 5		317, 434		12, 422, 823
衛生費	6, 316, 503	8.3		42, 978		5, 947, 938
労働費	654, 362	0.9		137		143, 078
農林水産業費	1, 942, 312	2. 5		794, 019		1, 162, 901
商工費	2, 920, 840	3. 8		140, 427		1, 395, 137
土木費	9, 205, 530	12. 1	,	3. 154. 250		6, 097, 665
消防費	2, 509, 023	3. 3	,	55, 341		2, 242, 906
	7, 236, 429	9.5	,	1, 896, 146		5, 178, 569
教育費	10, 230	0.0		1, 090, 140		4, 266
災害復旧費				-		
公債費	9, 253, 085	12. 1		-		8, 799, 833
諸支出費	-	-		-		-
前年度繰上充用金		-				
歳出合計	76, 184, 182	100.0	(6, 662, 069		49, 898, 403
			////			
	性質別歳			47 M 47 Th -	40 0 1 100 446	65 M
区分	決算額	構成比	充当一般財源等		当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	38, 465, 830	50.5	23, 458, 369		22, 502, 044	49.8
人件費	9, 430, 546	12. 4	8, 885, 845		8, 599, 847	19. 0
うち職員給	5, 610, 221	7.4	5, 130, 682			
扶助費	19, 782, 199	26. 0	5, 772, 691		5, 236, 428	11. 6
公債費	9, 253, 085	12. 1	8, 799, 833		8, 665, 769	19. 2
元利償還金	9, 251, 370	12. 1	8, 798, 118		8, 664, 054	19. 2
内 うち元金	7, 923, 510	10.4	7, 513, 826		7, 379, 762	16. 3
訳 うち利子	1, 327, 860	1.7	1, 284, 292		1, 284, 292	2. 8
一時借入金利子	1, 715	0.0	1, 715		1, 715	0.0
その他の経費	31, 046, 053	40.8	24, 425, 851		19, 893, 195	44. 1
物件費	9, 410, 147	12. 4	6, 450, 153		5, 878, 600	13. 0
維持補修費	2, 127, 990	2.8	1, 725, 785		1, 042, 625	2. 3
補助費等	10, 122, 353	13. 3	9, 315, 220		8, 202, 644	18. 2
うち一部事務組合負担金	4, 854, 351	6.4	4, 650, 251		4, 297, 313	9. 5
繰出金	6, 084, 671	8.0	5, 017, 666		4, 630, 204	10.3
積立金	1, 200, 845	1.6	1, 098, 079			_
投資・出資金・貸付金	2, 100, 047	2. 8	818, 948		139, 122	0.3
前年度繰上充用金	2, 100, 047	2.0	010, 340		103, 122	0.0
投資的経費計	6, 672, 299	8. 8	2, 014, 183			
万貝的程質計 うち人件費	299, 613	0. 0	2, 014, 183			
普通建設事業費	6, 662, 069	8.7	2, 009, 917			
内しうち補助	3, 598, 167	4.7	98, 498			
-□ つち単独	2, 926, 901	3.8	1, 904, 876			
災告復旧争耒貧	10, 230	0.0	4, 266			
失業対策事業費	70 104 100	100 -	40,000,400			
歳田合計	76, 184, 182	100.0	49, 898, 403			

(2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率(市町村)

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

放五百年50岁以代代十四.日7月17								
会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等 からの 繰入金	地方債 現在高	備考	
1 一般会計	77,051	76,184	867	612	923	78,892		
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								実質
計一般会計等(純計)	77,051	76,184	867	612		78,892		

※一般会計等(純計)は、各会計の相互間の繰入・繰出等の重複を控除したものであり、各会計の合計と一致しない場合がある。

公営企業会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 繰入見込額	資金不足 比率	備考
1 国民健康保険特別会計	21,391	21,904	▲ 513	▲ 513	1,451	0	0		
2 介護保険特別会計	16,336	16,336	0	-	2,429	0	0		
3 後期高齢者医療特別会計	1,557	1,530	27	27	455	0	0		
4 病院事業会計	4,539	4,525	14	▲ 60	893	1,967	1,496	1.5	法適用企業
5 水道事業会計	3,844	3,587	257	1,215	269	18,023	1,838		法適用企業
6 下水道事業会計	4,777	4,850	▲ 73	1,140	2,359	53,360	32,135		法適用企業
7 岩木観光施設事業特別会計	259	742	▲ 484	▲ 484	225	0	0	1,430.8	法非適用企業
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
31									
32									
33									
34									
35									
# 公営企業会計等				1,326		73,350	35,469		

関係する一部事務組合等の財政状況(単位:百万円)

	一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 負担見込額	備考
1	弘前地区環境整備事務組合	3,762	3,640	121	121	11	6,260	5,589	
2	弘前地区消防事務組合	2,848	2,818	29	29	80	1,191	1,086	
3	津軽広域水道企業団津軽事業部	2,023	1,512	511	1,851	0	5,335	0	法適用企業
4	津軽広域連合	173	166	7	7	12	0	0	
5	青森県後期高齢者医療広域連合(一般会計)	478	459	19	19	10	0	0	
6	青森県後期高齢者医療広域連合(特別会計)	143,351	142,876	475	473	1,932	0	0	
7	青森県市長会管理組合	5	4	0	0	0	0	0	
8	青森県交通災害共済組合	219	195	24	24	0	0	0	
9	青森県市町村総合事務組合	1,153	1,123	30	30				
10									
11									
12	2								
13	3								
14									
15	5								
16	3								
17									
18	3								
19									
20									
81	一部事務組合等				2,526		12,786	6,675	

(C)-(D) 35,245,197

13.3

13.7

(単年度)

(3ヵ年平均)

実質公債費比率 ((A)-((B)+(D)))/((C)-(D))×100 37,126,557 36,152,046

11.4

12.3

12.3

13.1

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名

1 一般財団法人 弘前市みどりの協会

2 弘前ウォーターフロント開発株式会社 3 ○ 弘前市土地開発公社 4 ○ 財産法人 岩木振興公社

5 財団法人 星と森のロマントピアそうま

経常損益 純資産又は 正味財産

8

17

29

▲ 202

324 290

▲ 9

からの 補助金

23

10

平成23年度

23

青森県弘前市

		1							
			53	2	0	0	22	6	
社・第三セクター等	る法人又は②則		っている法人	を記載している	5 .		20	U	
	辻・第三セクター等 共団体が①25%以上出資してい	共団体が①25%以上出資している法人又は②則	共団体が①25%以上出資している法人又は②財政支援を行	共団体が①25%以上出資している法人又は②財政支援を行っている法人	共団体が①25%以上出資している法人又は②財政支援を行っている法人を記載してい	・共団体が①25%以上出資している法人又は②財政支援を行っている法人を記載している。	共団体が①25%以上出資している法人又は②財政支援を行っている法人を記載している。		・共団体が①25%以上出資している法人又は②財政支援を行っている法人を記載している。

	長費負担の状況						将来負担の	7 700											
	実質公債費比率		円・%)							1			来負担比率	(千円・	· ·	1			
	区分		平成21年度	平成22年度	平成23年度			区分		平成21年度	平成22年度	平成23年度	分母比		内訳	平成21年度	平成22年度	平成23年度	分母比
元利	川償還金		9,596,001	9,330,690	9,117,306	25.2	将来負担額	一般会計等に係る地方債の現在である。	高	82,710,909	81,240,618	78,891,608	218.2	PFI	事業に係るもの	-	-	-	
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-		債務負担行為に基づく支出予定額	Į	24,823	16,298	8,358	0.0	いわ	ゆる五省協定等に係るもの	-	-	-	
準	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-		公営企業債等繰入見込額		35,868,646	36,982,768	35,469,123	98.1	国営	土地改良事業に係るもの	-	-	-	
利	公営企業債の元利償還金口対する繰入金		2,153,708	2,180,631	2,115,241	5.9		組合等負担等見込額		8,713,017	7,679,696	6,675,524	18.5	债 森林	総合研究所等が行う事業に係るもの	-	-	-	
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		1,148,315	1,160,071	1,131,913	3.1		退職手当負担見込額		10,739,412	10,281,775	9,943,770	27.5	負 地方	公務員等共済組合に係るもの	-	-	-	
湿金	債務負担行為に基づく支出額(公債費に準ずるもの)		49,629	43,242	43,629	0.1		設立法人等の負債額等負担見込	額	74,955	7,850	6,426	0.0	担依頼	土地の買い戻しに係るもの	-	-	-	
	一時借入金の利子		3	-	-	-		連結実質赤字額		-	-	-	-	^行 為 社会	福祉法人の施設建設費に係るもの	-	-	-	
	合計	(A)	12,947,656	12,714,634	12,408,089			組合等連結実質赤字額負担見込	額	-	-	-	-	損失	補償・債務保証の履行に係るもの	-	-	-	
	内訳		平成21年度	平成22年度	平成23年度	分母比		合計	(E)	138,131,762	136,209,005	130,994,809		引き	受けた債務の履行に係るもの	-	-	-	
	PFI事業に係るもの		-	-	-	-	充当可能	充当可能基金		5,120,569	6,169,308	7,028,370	19.4	その	他上記に準ずるもの	24,823	16,298	8,358	0.
	いわゆる五省協定等に係るもの		-	-	-	-	財源等	充当可能特定歳入		12,471,910	11,577,468	11,104,134	30.7		下水道事業会計	32,016,855	33,387,614	32,135,214	88.
债	国営土地改良事業・森林総合研究所等が行う事業に係る	ŧの	-	-	-	-		基準財政需要額算入見込額		81,212,783	79,964,534	80,791,895	223.5		水道事業会計	1,944,474	1,873,635	1,838,295	5.
務	地方公務員等共済組合に係るもの		-	-	-	-		合計	(F)	98,805,262	97,711,310	98,924,399		企業債等 公見込	病院事業会計	1,889,225	1,711,960	1,495,614	4
負担	社会福祉法人の施設建設費に係るもの		-	-	-	-	将来負担比	比率((E)-(F))/((C)-(D))×100		111.5	103.6	88.7		******	岩木観光施設事業特別会計	18,092	9,559	-	
行	損失補償・債務保証の履行に係るもの		-	-	-	-									その他の会計	-	-	-	
為	引き受けた債務の履行に係るもの		-	-	-	-									地方道路公社に係る将来負担額	-	-	-	
	その他上記に準ずるもの		-	-	6,400	0.0	便	建全化判断比率 平成23年度	早期健全	化基準 財政	女再生基準			公社・三セク等	土地開発公社に係る将来負担額	71,118	4,750	4,078	0.
	利子補給に係るもの		49,629	43,242	37,229	0.1	実質	質赤字比率 -		11.38	20.00			_ =	その他第三セクター等に係る将来負担額	3,837	3,100	2,348	0.
特定	E財源の額	(B)	1,252,738	1,129,464	1,180,571		連糸	結実質赤字比率 -		16.38	30.00		_						
標準	基財政規模	(C)	42,258,477	44,147,694	43,249,253		実質	質公債費比率 12.3		25.0	35.0								
質え	、公債費等の額	(D)	7,013,280	7,021,137	7,097,207		将3	来負担比率 88.7		350.0									

(3)市町村財政比較分析表(普通会計決算)

平成23年度

青森県弘前市

青壶桌平均

124.4



● 当該団体値
● 類似団体内平均値

▼ 類似団体内の
最大値及び最小値

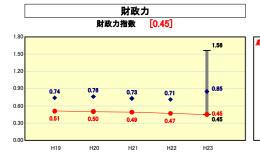
※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。

※類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。

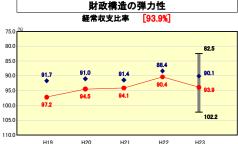
※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。



類似団体内層位 全国平均 青森県平均 51/52 0.51 0.32

一致力指数の分析欄

人口の減少や第1次産業就業者の割合(14.7%)及び高齢化率(H23年度末 26.1%)が高いことが市税収入に影響し、財政基盤が弱く、類似団体内では 低順位となっている。引き続き、自主財源の確保や内部経費の削減等に努 め、財政の健全化を図る。



113,116

112,534

H22

100.00

200,000

300.000

500.000

112,628

110,603

類似団体内順位 全国平均 青森県 45/52 90.3

経常収支比率の分析機

普通交付税の減額に加え、除排雪経費や生活保護費などの扶助費の増により前年度数値よりも3.5ポイント増加した。類似団体内の順位も低く、全国平均・青森県平均を上回っており、財政が硬直化している状況にある。扶助費が増加傾向にあることから、引き続き徹底した経常経費等の見直しに努める必要がある。





435,866

弘前城築城400祭記念関連事業費、除排雪経費、各種事業にかかる旅費や 学校給食の提供を中学校に拡大したことに伴う随材料費等の増加が要因と なって、前年度数値よりも増加している。全国平均・青森県平均を下回ってい る状況にあるものの、類似団体内での順位は昨年度よりも下がっている。引 き続き適正な定員管理・給与制度の運用と経常経費等の見直しに努める。



類似団体内順位 41/52

普通会計及び一部事務組合における地方債現在高が減少したことにより、 将来負担額が減少したことや、財政調整基金及び市債管理基金への積立に より、充当可能基金が増加したことなどの理由から前年度数値から14.9ポイント改善した。

全国平均

今後は、庁舎改修などの大規模な合併特例事業が計画されていることに伴い地方債現在高が一時的に増加し、将来負担額が増えることが予想されるが、早期健全化基準には達しない見込みである。



類似団体内順位 全国平均 青森県平均 48/52 9.9 15.1

実質公債費比率の分析機

地方債については、緑上償還を計画的に実施してきたことや、「借入額<償 還額を継続してきたことにより年々減少しており、前年度数値が0.8ポイント 改善したが、依然として類似団体内では下位である。

市の公債費は、今後、合併特例事業債や過疎対策事業債の活用などにより、増加する見込みであることから、計画的な起債の発行に努め、早期健全 化基準を超えることのないよう留養する必要がある。



H22

H19

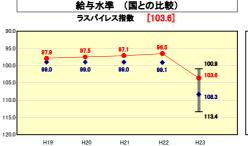
H20



人口干人当たり職員数の分析を

類似団体内・全国・青森県のいずれの平均よりも下回っているが、前年度数値よりも微増している。

今後も引き続き、指定管理者制度、民間委託、非常勤職員の活用により適 正な定員管理に努める。



類似団体内順位 全国市平均 全国町村平均 3/52 106.9 103.3

ラスパイレス指数の分析機

前年度数値よりも.1ポイント増加しているが、これは国家公務員の時限的な 給与改定特例法の措置が反映されているためで、同法の措置がない場合の ラスパイレス指数は95.8となる。

類似団体内の順位は上位に位置し、全国市平均を下回っている状況にはあるものの、今後も引き続き適正な給与制度の運用に努める。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成23年度

青森県弘前市

青森県平均

青森県平均

13.5

69.4

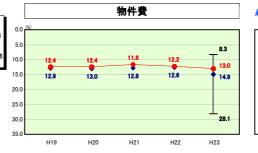
14.7

経常収支比率の分析

181,622 人(H24.3.31現在) 質 赤 宇 比 率 524.12 km² 結実質赤字比率 96 総 蒙 λ 77 051 301 千円 12.3 % 質 公 債 費 比 率 出 総 76, 184, 182 千円 来負担比率 88.7 96 実 # 収 611,575 千円 H20 IV — 1 H21 IV - 1 W — 1 43.249.253 千円 H23 IV — 1 H22 78,891,608 千円

※ 市町村類型とは、人口および産業権造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

◆ 類似団体内平均値 類似団体内の 最大値及び最小値



類似団体内順位 全国平均 青森県平均 19/52 13 1 10.6

物件費の分析機

類似団体内では中位の順位となっているものの、前年度数値と比 較し0.8ポイント増加しており、県平均を上回っている状況にある。各 種事業にかかる旅費や新たに指定管理者制度を導入したことに伴 う委託料などの増加が要因として考えられる。

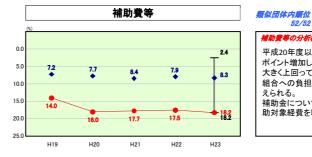
今後も引き続き経常経費の見直しに努める。



類似団体内層位 20.9

人件費の分析機

昨年度数値よりも微増しているものの、類似団体内で比較すると最 も低くなっている。退職手当や職員給の減少が要因と考えられる。 しかし、人件費及び人件費に準ずる費用の人口1人あたりの歳出決 算額をみると、一部事務組合に対する負担金や公営企業に対する 繰出金が類似団体平均を大きく上回っていることから、引き続き適 正な定員管理・給与制度の運用に努めるだけではなく、一部事務 組合及び公営企業の状況を注視していく必要がある。



補助費等の分析権

平成20年度以降高い水準にあることに加え、昨年度数値よりも0.7 ポイント増加しており、類似団体内・全国・青森県いずれの平均値も 大きく上回っている。この項目の決算額の構成をみると、一部事務 組合への負担金が大きくなっており、このことが一つの要因として考

全国平均

補助金については、今後も引き続き、本来の補助目的に基づき、補 助対象経費を精査するなどし抑制に努める。



類似団体内順位 扶助費の分析欄

類似団体内・全国・青森県平均のいずれも上回っており、前年度数 値と比較すると0.9ポイント増加している。主な要因としては、生活保 護扶助費や障害者自立支援事業扶助費の増加が挙げられる。 今後も引き続き資格審査等の適正化に努める。

10.5

全国平均



看似团体内槽位 その他の分析欄

平成20年度以降増加傾向にあり、昨年度数値と比較すると1.0ポイ ント増加している。除排雪経費の増額がひとつの要因として考えら れる。

12.2

全国平均

また、繰出金については、平成22年度が9.9%であったのに対し平成 23年度は10.3%で0.4ポイント増加している。各会計の状況によって は、繰出が必要になることも考えられることから、今後においても状 況を注視するとともに、繰出基準内での執行に努める。



類似团体内層位 公信誉の分析機

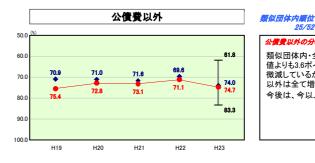
39/52

平成19年度以降減少傾向にあるが、類似団体内・全国平均を上 回っている状況にある。

19.0

20.4

今後、合併特例事業債や過疎対策事業債の活用などにより増加す る見込みであることから、計画的な起債の発行に努める。



25/52

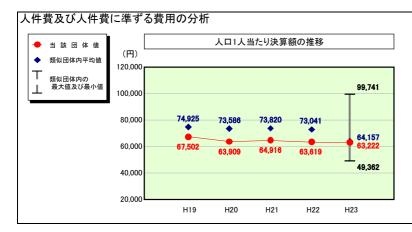
類似団体内・全国・青森県いずれも平均を上回っており、昨年度数 値よりも3.6ポイント増加している。構成する費目でみると、人件費は 微減しているが、物件費・維持補修費・扶助費・補助費等の人件費 以外は全て増加している。

71.3

全国平均

今後は、今以上に経常経費の見直しに努める必要がある。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

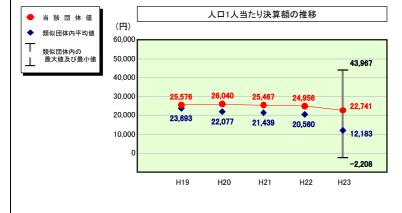


人件費及び人件費に準ずる費用 当該団体決算額 人口1人当たり決算額 (千円) 当該団体(円) 類似団体平均(円) 対比(%) 人件費 9, 430, 546 51, 924 61, 658 **▲** 15.8 賃金 (物件費) 311 411 1 715 3 520 **▲** 51 3 一部事務組合負担金 (補助費等) 1, 920, 221 10, 573 1, 858 469.1 公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等) 127. 7 1, 733 761 314, 676 公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金) 2, 354 1, 206 **•** 7, 200 公営企業 (法非適) 等に対する繰出し (繰出金) 事業費支弁に係る職員の人件費 (投資的経費) 390, 22 2, 149 **▲** 8.7 299, 613 **1**, 184, 150 1,650 36.8 **▲** 6, 520 63, 222 ▲退職金 **▲** 9.4 合計 11, 482, 538 64, 157 **▲** 1.5

_ 参考			
	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	5. 51	6. 31	▲ 0.80
ラスパイレス指数	103. 6	108. 3	▲ 4.7

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

(参考) 普通建設事業費の分析



公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)	1 W = + F2 / 1 + W = +			
	当該団体決算額		人口1人当たり決算	
	(千円)	当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	9, 117, 306	50, 199	34, 173	46. 9
積立不足額を考慮して算定した額	-	=	-!	=
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	43	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	2, 115, 241	11, 646	9, 123	27. 7
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	1, 131, 913	6, 232	1, 231	406. 3
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	43, 629	240	1, 805	▲ 86.7
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	5	_
▲特定財源の額	▲ 1, 180, 571	▲ 6, 500	▲ 7, 902	▲ 17. 7
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 7, 097, 207	▲ 39,077	▲ 26, 295	48. 6
合計	4, 130, 311	22, 741	12, 183	86. 7
※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基	基づく実質公債費比	率を算出していな	い団体については、	グラフを表記した

(円) 70,000 60,000 40,000 30,000 20,000 10,000 0 H19 H20 H21 H22 H23

── 当該団体値

◆ 類似団体内平均値

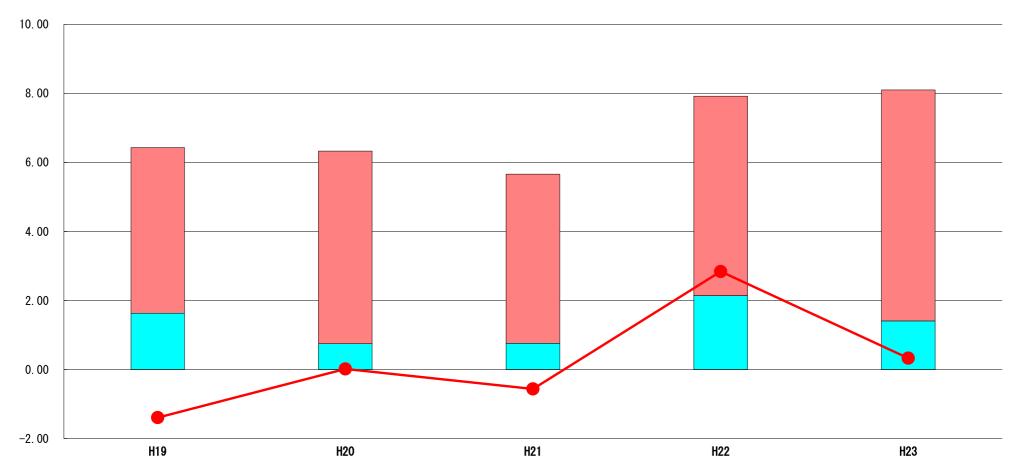
		当該団体決算額		人	口1人当たり決算	額	
		(千円)	当該団体(円)	増減率(%)(A)	類似団体平均(円)	増減率(%)(B)	(A) – (B)
H19		6, 232, 447	33, 470	▲ 1.1	45, 614	▲ 1.0	A 0.
	うち単独分	3, 592, 296	19, 292	▲ 19.2	28, 729	1.4	▲ 20. 0
H20		4, 657, 422	25, 214	▲ 24. 7	42, 470		▲ 17.
	うち単独分	2, 572, 065	13, 924	▲ 27.8	26, 888	▲ 6.4	▲ 21. 4
H21		7, 550, 593	41, 073	62. 9	51, 540	21. 4	41
	うち単独分	5, 394, 077	29, 342	110. 7	32, 621	21. 3	89. 4
H22		6, 902, 059	37, 740	▲ 8.1	50, 804	▲ 1.4	▲ 6.
	うち単独分	3, 902, 111	21, 337	▲ 27.3	30, 480	▲ 6.6	▲ 20.
H23		6, 662, 069	36, 681	▲ 2.8	38, 606	▲ 24.0	21. 2
	うち単独分	2, 926, 901	16, 115	▲ 24.5	22, 435	▲ 26.4	1. 9
過去5年間平均		6, 400, 918	34, 836	5. 2	45, 807	▲ 2.4	7. (
	うち単独分	3, 677, 490	20, 002	2. 4	28, 231	▲ 3.3	5.

(5) 実質収支比率等に係る経年分析(市町村)

平成23年度

青森県弘前市

標準財政規模比(%)



標準財政規模比(%)

			•		
年度	H19	H20	H21	H22	H23
財政調整基金残高	4. 80	5. 58	4. 90	5. 78	6. 69
実質収支額	1. 63	0. 75	0. 76	2. 14	1. 41
実質単年度収支	▲ 1.39	0. 02	▲ 0.56	2. 84	0. 33

分析欄

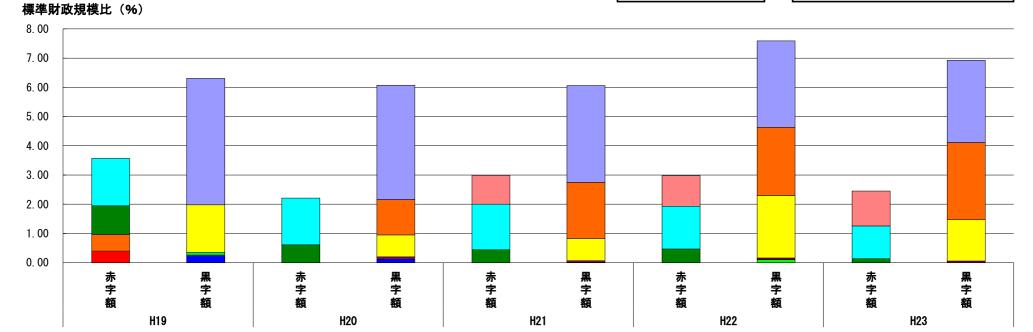
平成22年度と比較すると、平成23年度は標準財政規模が減少したことからグラフが示す値は下降している。実質単年度収支では赤字となった年度があるものの、実質収支では全ての年度において黒字となっている。財政調整基金の残高は、平成19・20年度に20億円を割ったが、それ以降は計画的な財政運営に努め、平成23年度末では約29億円となっている。

今後も引き続き中長期的な視点に立ち、計画的かつ健全な財政運営に努める。

(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析(市町村)

平成23年度

青森県弘前市



標準財政規模比(%)

年度 会計	H19	H20	H21	H22	H23
国民健康保険特別会計	0.00	0. 00	▲ 0.99	▲ 1.05	▲ 1.19
岩木観光施設事業特別会計	▲ 1.62	▲ 1.60	▲ 1.56	▲ 1.46	▲ 1.12
病院事業会計	▲ 0.98	▲ 0.61	▲ 0.44	▲ 0.47	▲ 0.14
水道事業会計	4. 33	3. 91	3. 31	2. 96	2. 81
下水道事業会計	▲ 0.57	1. 21	1. 92	2. 33	2. 64
一般会計	1. 63	0. 75	0. 76	2. 14	1. 41
後期高齡者医療特別会計	1	0. 08	0. 06	0. 06	0. 06
介護保険特別会計	0. 09	0. 00	0. 00	0. 10	0. 00
その他会計(赤字)	▲ 0.40	_	-	_	_
その他会計(黒字)	0. 26	0. 12	0. 01	0. 00	_

分析欄

平成19年度以降、赤字となっている主な会計は、岩木観光施設事業特別会計・国民健康保険特別会計・病院事業会計となっている。下水道事業会計においては、平成19年度は赤字であったが、平成20年度以降は黒字に転じている。

国民健康保険特別会計については、赤字解消のため平成22年度に保険料の改訂を行っているが、解消には至らず、累積赤字は増加している。全国的な傾向ではあると考えられるが、国保財政は厳しい状況が続くものと予想される。岩木観光施設事業特別会計、病院事業会計については、それぞれ経営健全化計画、公立病院改革プランを着実に実行し、経営の健全化を図っている。一般会計をはじめ黒字となっている各会計についても、引き続き健全な財政運営に努める。

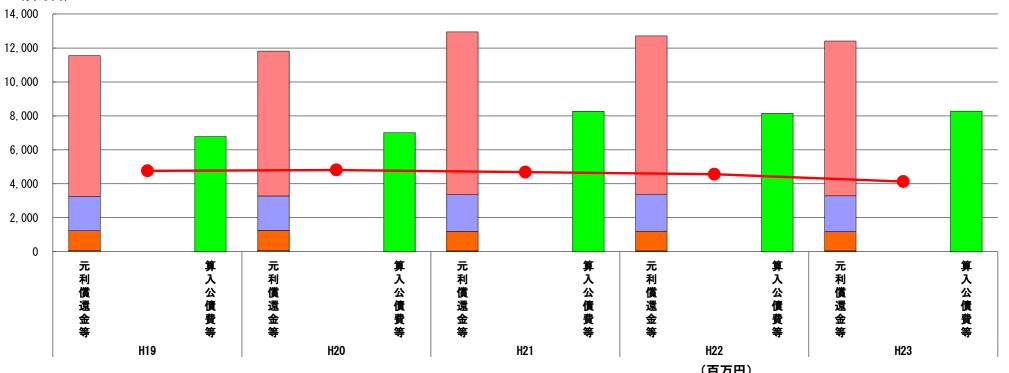
※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(7) 実質公債費比率 (分子) の構造 (市町村)

平成23年度

青森県弘前市

(百万円)



_							(0)11/
分子の構造		年度	H19	H20	H21	H22	H23
元利償還金等(A)		元利償還金	8, 289	8, 533	9, 596	9, 331	9, 117
		減債基金積立不足算定額	-	-	-	1	_
		満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	-	1	_
		公営企業債の元利償還金に対する繰入金	2, 022	2, 029	2, 154	2, 181	2, 115
		組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	1, 170	1, 183	1, 148	1, 160	1, 132
		債務負担行為に基づく支出額	67	68	50	43	44
		一時借入金の利子	0	1	0	1	_
算入公債費等(B)		算入公債費等	6, 784	7, 002	8, 266	8, 151	8, 279
(A) - (B)	-	実質公債費比率の分子	4, 764	4, 812	4, 682	4, 564	4, 129

分析欄

実質公債費比率の分子は平成20年度以降減少 傾向となっている。

関係一部事務組合等については、公債費のピークは過ぎ、それに対する負担金は減少傾向にあるが、公営企業に対する繰出は横ばいとなっている。また、一般会計の公債費は、合併特例事業債や過疎対策事業債の活用などにより一時的に増加する見込みであることから、今後も計画的な財政運営に努める必要がある。

[※]平成19年度決算と平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は減債基金積立不足算定額を含んでいる。

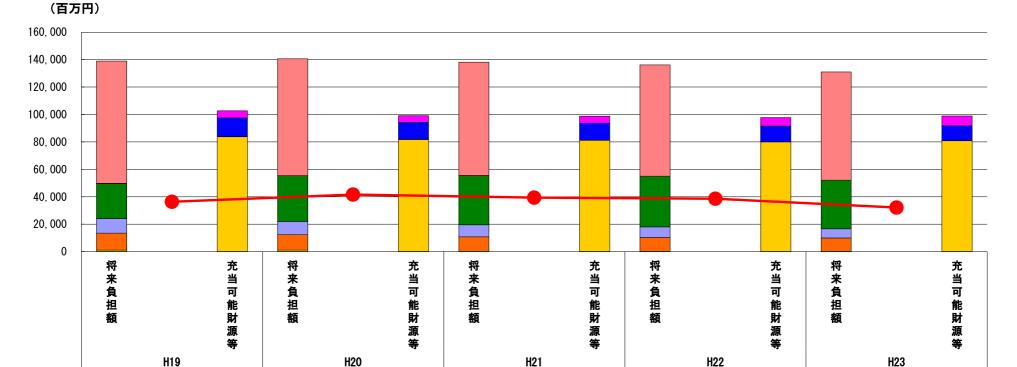
[※]平成21年度決算以降の算入公債費等は特定財源の額を含んでいる。

[※]平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(8) 将来負担比率 (分子) の構造 (市町村)

平成23年度

青森県弘前市



						(1)
分子の構造	年月	₹ H19	H20	H21	H22	H23
将来負担額(A)	一般会計等に係る地方債の現在高	89, 278	85, 297	82, 711	81, 241	78, 892
	債務負担行為に基づく支出予定額	175	34	25	16	8
	公営企業債等繰入見込額	25, 478	33, 359	35, 869	36, 983	35, 469
	組合等負担等見込額	10, 584	9, 549	8, 713	7, 680	6, 676
	退職手当負担見込額	12, 404	11, 333	10, 739	10, 282	9, 944
	設立法人等の負債額等負担見込額	1, 061	1, 072	75	8	6
	連結実質赤字額	-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額	-	-	-	-	-
充当可能財源等(B)	充当可能基金	5, 198	4, 855	5, 121	6, 169	7, 028
	充当可能特定歳入	13, 733	12, 494	12, 472	11, 577	11, 104
	基準財政需要額算入見込額	83, 750	81, 753	81, 213	79, 965	80, 792
(A) — (B)	将来負担比率の分子	36, 299	41, 543	39, 327	38, 498	32, 070

分析欄

(百万円)

一般会計の地方債現在高及び組合等負担等見込額は減少傾向にある。公営企業債等の償還に対する繰出見込額は、平成23年度は前年度よりも減少した。さらに、退職手当についても退職者の減少に伴い、その負担額は減少している。た、充当可能基金の額は増加傾向にある。現在は、早期健全化基準から大きく所回っているが、今後は、一般会計において合併特例現積や過疎対策事業債の活用により地方債の現程高が増加することが見込まれる。現在と関係の表達を維持していくために、有利な財源を関係が増加するとともに、基金残高を増やすことに、基金残高を増かすことに、基金残高を増かすことに、基金残高を増かすことに、基金残高を増かすことに、基金残高を増かすことに、基金残高を増かすことに、基金残高を増かすことに、基金残高を増かすことに、基金残高を増かするとともに、基金残高を増かすことに、基金残高を増かするとともに、基金残高を増かる。

[※]平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。